

俳句

花桔梗

木々朗

群落の薄荷の花や香を纏ふ
古来より格調高き酸橘かな
華やげる月見の宴や人と逢ふ
花桔梗青銅壺に映えにけり
まつすぐな駅前通り野菊晴

雑詠 葉月

細田 安治

梅雨明けて 夏まばたくま 秋たちぬ
グレゴリーと 別けよ自然の 四季の暦
コロナ禍で どこにあるのか 夏祭り
爺婆の 小遣いどこに 子らの夏
日常の ウイズコロナの 指針いずこ
三密を 生き場所いずこ 引きこもり



桔梗

<https://ja.wikipedia.org/wiki/>